

ひかり

2025年11月号

第738号



日本聖公会 三光教会

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nsskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

イエスは言われた。「…神は死んだ者の神ではなく、
生きている者の神なのだ。すべての人は、神によって生
きるからである。」

(ルカによる福音書 20:34~38)

私にとって、

クリスマスの意味は？

司祭

シモン・ペテロ 上田憲明

クリスマスが近づくと思いたくなる本の一つに、チャールズ・ディケンズの「クリスマス・キャロル」がある。ご存知、けちで強欲のスクルージが主人公のあのお話である。町中がクリスマス色で浮かれるような感じが溢れると、スクルージではなくとも、余計に気が滅入った感じになる時がある。親しい人が死んでしまったら、大切な人と別れなければならなかったり、仕事を失ったり、人生が灰色に見えるような時に、浮ついたように感じられるクリスマス・ソングは一層辛く聞こえ、逃げたくなる。クリスマスの本当の意味はそういう中では見えにくいので、余計にそうなる。

「クリスマス・キャロル」では、死んでから後悔の日々を送っている幽霊の友人の訪問をきっかけにクリスマスの過去、現在、未

来3つの霊がスクルージを訪れ、クリスマスの意味をもう一度問い直す。スクルージに語りかけられる事はまるで、私にとっては、こう言っているかのようなのである。今のありのままの自分を見つめ、喜ぶべきことを喜び、楽しむべきことを楽しみ、悲しむべきことを悲しむ、怒るべきことに怒り、反省すべきことを反省し、感謝すべきことを感謝する。しかもそれを他の人々との関わりの中で、分かち合う。言わば当たり前といえれば当たり前のような毎日の生活を充実して、生き生き、と生きているか？そして自分の狭い世界の中でうろろろしているのではなく、自分とは違う人々に関心を持って関わり、自分の世界を広げ、あるいは自分の狭い世界から出ようとしているかどうかである、と。

イエスさまの誕生を祝うのがクリスマスなのだが、その物語の中でも、ある一つの見方をする、と、イエスさまは、少女マリア（つまり小学高学年ぐらいの幼い母）から生まれ、（両親は人間の泊まる所には泊まれなかったのだ）飼葉桶に寝かされ、おおよ

そ、外面的には恵まれない環境で生まれてきた。それを最初に祝ってくれたのは、当時でも貧しく野宿していた（つまりホームレスのような）羊飼いであり、プレゼントを持ってきてくれたのは、（いわば外国人の）東方の占い師たちであった。そういう人たちをも通して神様は私たちに恵みを運んで下さるということを忘れないようにというメッセージもそこに込められている。そして、外面的な有り様や、環境や状況にも関わらず、そこに立ち会った人々は、小さな光を見た。その光は、心の奥底に静かに広がっていく、生きる喜びのような光なのである。

今年のクリスマス、あなたの心にもその光が生まれますように。その喜びを共にできますように。



ディケンズの

「クリスマス・キャロル」より

11月～12月の予定

◆11月	16日(日)	聖霊降臨後第23主日
	17日(月)	修院長ヒルダ
	22日(土)	殉教者おとめセシリヤ
	23日(日)	東京教区第147(定期)教区会
	30日(日)	降臨節前主日
◆12月	1日(月)	使徒聖アンデレ日
	2日(火)	逝去者記念礼拝
	3日(水)	日本聖公会初代主教ウイリアムズ
	5日(金)	アジアの殉教者とフランシスコ・ザビエル
	6日(土)	司祭教会博士アレキサンドリアのクレメンス
	7日(日)	主教ニコラス
	13日(土)	降臨節第2主日
	14日(日)	殉教者おとめルシヤ
	17日(水)	降臨節第3主日
	19日(金)	冬期聖職按手節
	20日(土)	冬期聖職按手節
	21日(日)	冬期聖職按手節
	22日(月)	降臨節第4主日
	24日(水)	使徒聖トマス日
	25日(木)	降誕日前夕(クリスマス・イヴ)
	26日(金)	降誕日
	27日(土)	最初の殉教者聖ステパノ日
	28日(日)	福音記者使徒聖ヨハネ日
	29日(月)	降誕後第1主日
		聖なる幼子の日

第113回創立記念日礼拝
を終えて

三光教会創立記念日礼拝をたくさんの方々とお祝いすることが出来たこと嬉しく思いました。高橋主教は早祷からお見えになり、聖餐式を執り行なうて下さり、その後早祷出席者の方との久しぶりの再会に楽しい時間を過ごされていらつしやいました。

10時30分からの聖餐式では、お二人の方が堅信にあずかりました。高橋主教司式の礼拝は上田司祭の司式とは違った空気感を感じながら、礼拝の時間を共に持つことが出来ました。

アンセムでは香蘭聖歌隊の声のやわらかさと三光聖歌隊の安定した声が重なり華やかなアンセムだったと思います。礼拝後には集合写真を撮り、会館で持ち寄り、ザ・ア会が準備していた温かいおかずとともに食卓を囲みながら楽しい時間を過ごしました。



公 示

日本聖公会東京教区三光教会の来年度教会委員の選挙を
日本聖公会法規に従って、実施いたします。

救主降生2024年11月2日 聖霊降臨後第21主日

日本聖公会東京教区 三光教会

牧師 司祭 シモン・ペテロ 上田憲明

記

1 投票方法

(1) 所定の「投票用紙」を用いてください。

(2) 教会委員として投票したい方を8名（8名以内でも可）の
氏名を投票用紙の枠内に記入してください。

(3) 教会内に設置された投票箱へ投票してください。牧師宛て
郵送も可能です。

(4) 投票は無記名です。

2 選挙期間

2025年11月2日(日)～2025年12月7日(日)

開票は12月7日(日)降臨節第2主日聖餐式Ⅱ後に行ないます。
※郵送の場合は12月5日(金)必着にてお願いいたします。

選挙管理委員は次の方を任命します。

石川恭温、黒川正三、関塚晴美

なお、教会委員は牧師と当選者が推薦した計11名で構成されま
す。また、前年の教会委員のうち、直近の継続在任期間のより長い
人（同期間の場合は通算在任期間の長い人）3人を被選挙人名簿か
らはずします。但し、この3人の被選挙権は翌年度には回復されま
す。今年度は上記の規定に石川恭温、黒川正三、関塚晴美の3氏が
該当します。

現在堅信受領者 各位

三光教会 選挙管理委員会

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が
少なくなりました。土曜日の午
前10時から1時間程ご奉仕くだ
さい。ご協力いただける方は直
接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子に
お掛けになったままで結構で
す。

●礼拝中の献金は、信施金とし
て伝道のために献げられるも
のです。金額は自由です。

●わからない点は隣の席の者か
案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:30 聖餐式

午前 10:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝

午前 10:30 聖餐式

午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

毎朝 6:30 から

月、水、金は朝の礼拝、
火、木、土は聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2025年11月号(第738号)

発行者：牧師 上田 憲明 編集・印刷：三光教会広報委員会